

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>



2017 かわさき読書週間 イベント情報

10月29日(日)～11月11日(土)は「かわさき読書週間」です!

“読書のまち・かわさき”では、「かわさき読書の日」(11月第1日曜日)をはさんだ2週間で「かわさき読書週間」とし、図書館や学校などで様々な取組を行っています。今年も読書週間を中心に、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催いたします。ぜひご参加ください。

川崎立図書館	10月25日(水)	読書普及講演会 「孫の語る漱石－夏目漱石生誕150年」
川崎図書館 大師分館 田島分館	11月18日(土)	川崎・大師・田島合同企画「おはなしキャラバン」 紙しばい・パネルシアター・手遊びなど 会場：教育文化会館(川崎区社協福祉まつりの中で行います)
川崎図書館	10月17日(火) ～11月19日(日)	川崎区内の学校図書館ボランティア活動紹介展示
幸図書館	10月5日(木)	大人のためのおはなし会 ～耳から楽しむ「昔ばなし」の世界へようこそ～
	10月21日(土) ～11月19日(日)	展示・南武線開業90周年記念企画
	10月27日(金)	10月のおはなし会 人形劇や大型絵本の読み聞かせ、手遊びなど
	11月4日(土)	大人のための朗読会
	11月15日(水)	おはなしワールド 外国語と日本語での絵本の読み聞かせなど
日吉分館	11月18日(土)	大人のための図書館探検ツアー
日吉分館	10月21日(土)	ストーリーテリング秋のおはなし会
中原図書館	11月3日(金) ～11月5日(日)	なかはらこどもとしょかん本のもり 絵本の読み聞かせ・絵本展示・中原図書館&学校図書館などのボランティア紹介 展示 ほか
高津図書館	10月21日(土) ～10月30日(月)	高津区の読書活動紹介展示 図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介・ポスター作品展示 ほか
橘分館	11月4日(土) ～11月5日(日)	リユース本の配布 等
	11月5日(日)	どんぐり広場 おはなし会 等
宮前図書館	10月13日(金) ～10月18日(水)	第12回 みやまえ本とお話の一週間
	10月29日(日)	人形劇公演
	11月12日(日)	赤ちゃんと一緒に絵本の読み聞かせ&乳幼児の応急手当教室
多摩図書館	11月30日(木)	大人が楽しむおはなし会
	10月18日(水)	第20回読書普及文化講演会 「林望講演会」
	10月29日(日)	秋のおはなし会
麻生図書館	10月21日(土) ～10月29日(日)	多摩区の読書紹介展示 図書館で活動しているグループや学校図書館の活動紹介や、おすすめの児童書の 展示です。
	11月9日(木)	大人が楽しむお話の会
柿生分館	11月15日(水)	秋の親子おはなし会 ～人形劇を楽しもう～
	11月1日(水)	秋のおはなし会
柿生分館	11月29日(水)	おりがみひろば
教育委員会 事務局指導課	11月5日(日)	第15回かわさき読書の日のつどい 作家・石井睦美氏による講演会 読書活動優秀団体・個人・学校表彰式、児童生徒の入賞作品(読書ポスター・標語 など)の表彰・作品展示

予告なしに変更する場合があります。申込方法・会場など詳しくは図書館ホームページに掲載しています。
お問合せは各図書館、「読書の日のつどい」は教育委員会事務局指導課(電話044-200-3243)へ。

「孫の語る漱石 - 夏目漱石生誕150年 -」

講師：夏目房之介氏

今年は、文豪・夏目漱石（1867年2月9日-1916年12月9日）の生誕150年にあたります。今年の講演会は、漱石の孫にあたり、漱石に関する著作もある夏目房之介氏を講師にお迎えし、漱石についてお話しいたします。

日時 平成29年10月25日（水）
午後6時30分～8時30分（開場 午後6時）

会場 中原市民館 多目的ホール
（武蔵小杉駅下車・徒歩5分）

定員 300名（先着順・全席自由）

お申込 10月7日（土）午前10時から、市立図書館・分館・閲覧所カウンターにある申込書と引き換えに整理券を配布します。お1人2枚まで。無料。

お問合せ 中原図書館
（電話 044-722-4932）
※10月7日（土）午前10時から、上記電話番号にて電話でのお申込みも受付します。



講師紹介

夏目房之介（なつめ ふさのすけ）
漫画コラムニスト、学習院大学大学院教授。

1950年（昭和25年）東京生まれ。青山学院大学卒。夏目漱石の長男・純一氏（ヴァイオリニスト・故人）の長男。漫画、エッセイ、漫画評論を手がけ、NHK「BSマンガ夜話」などTVにも出演。1999年、マンガ評論への貢献で朝日新聞手塚治虫文化賞特別賞受賞。著書に『手塚治虫はどこにいる』、『マンガの深読み、大人読み』、『漱石の孫』など多数。

著書紹介

夏目房之介氏の著作の中から、漱石に関して書かれたものの一部をご紹介します。

『漱石の孫』（実業之日本社 2003刊）

漱石の英国留学100年目にテレビ番組の取材で訪れた、ロンドンの漱石最後の下宿先でわきあがった不思議な感情。「文豪の孫」といわれて育った著者が、偉大な祖父とあらためて向き合い、はじめて漱石について書いた著書です。



『孫が読む漱石』（実業之日本社 2006刊）

「吾輩は孫である」というプロローグで漱石と自己について語った後、漱石の名作『坊っちゃん』から『明暗』まで16作品を4つの時代にわけて論じています。テレビの取材をきっかけに出会った『文学論』や漱石書簡、漱石の妻である祖母のことも記されています。



夏目漱石特集コーナー

講演会に先立ち、各図書館（分館・閲覧所を除く）で夏目漱石関連の特集を行っています。漱石の著作や漱石に関する資料などを集めました。講演会講師の夏目房之介氏の著作もございます。昔読んだことがある方も、そうでない方も、今年の秋は、漱石の作品に親しんでみませんか。



中原図書館の特集コーナー

高津図書館の休館と2階フロア利用休止のご案内

高津図書館は改修工事のため、工事期間中は2階フロアの利用を休止し、下記の日程で休館いたします。また、返却ポストが利用できない期間があります。

休館日 ・平成29年10月2日（月）～10月7日（土） ※この期間は返却ポストも利用できません
・平成29年11月6日（月）～11月30日（木）
・平成30年1月20日以降の1週間程度（日程未定。後日、ホームページ等でお知らせいたします）

2階フロア利用休止期間（改修工事期間） 平成29年10月2日（月）～平成30年3月中旬
（終了日は後日、ホームページ等でお知らせいたします）

※工事期間中は2階の図書資料、閲覧席等のご利用いただけません

お問い合わせは 高津図書館 電話 044-822-2413



川崎フロンターレと本を読もう!2017

川崎市立図書館では、2009年からサッカーJ1チームの川崎フロンターレと協働で、サッカーと読書を盛り上げる活動をしています。

今年は、9月23日(土)に知念選手とふろん太くんをお迎えして、グランツリー武蔵小杉4階のスマイルスクエアにて、「フロンターレ選手と本を楽しもう!」を開催しました。事前にお申し込みいただいた小学1~3年生の子どもたちとその保護者110人にご参加いただき、知念選手による絵本の読み聞かせやクイズなどで、楽しいひと時を過ごしました。

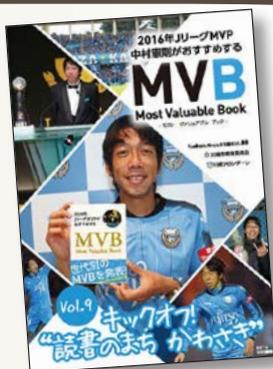


知念選手による読み聞かせ



選手・ふろん太くんとふれあいタイム

『キックオフ! 読書のまち・かわさき Vol.9』



フロンターレ選手が選んだおすすめ本を紹介しているリーフレットも、今号で9冊目となりました。今回は、川崎フロンターレの大黒柱で2016年JリーグMVPの中村憲剛選手がおすすめするMVB (MVB=Most Valuable Book)。読書家で有名な中村選手が、どんな本を紹介してくれたのか…。毎年大好評のホームゲームチケットプレゼント企画(応募締切平成29年12月5日)もあります。川崎市立図書館で配布中ですので、ぜひ手に取ってご覧ください。

第33回

このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介しています。今回は「音楽」をテーマにした本を紹介します。



A: 『川崎の古民謡 上・下』

角田益信/著 1986・1990

川崎市各地で明治から大正時代にかけて生活の中で歌い継がれてきた古民謡。上巻では婚礼の席などで歌われた祝い唄と田植えなどで歌われた仕事唄。下巻ではわらべ唄や娯楽唄などを取り上げています。

著者が昭和30年頃からレコーダーをかついで各地を回り収集した唄を、歌われる状況やその時代背景を含めて紹介しています。今は消えてしまった唄も多くありますが、当時の生活の様子を知ることができる貴重な資料ともなっています。

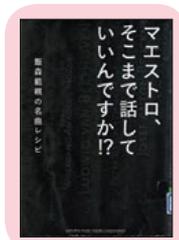


A

B: 『マエストロ、そこまで話していいんですか!』

飯森範親/著 2012 ヤマハミュージックメディア

ミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点として活動している東京交響楽団の正指揮者、飯森範親さんの著作。クラシックの名曲を作曲家の人生と共に紹介しています。飯森さんが指揮するときの作品解釈やより深く味わうためのポイントなども書かれており、読むと実際に曲を聞いてみたいくなります。



B

C: 『夢はピアノとともに』

小川典子/著 2008 時事通信出版局

日本と英国を拠点に活躍する多摩区出身のピアニストです。2006年には川崎市文化賞を受賞しました。世界各地で演奏活動を行っている著者の留学時代や訪れた国のこと、これまで出会った人々や音楽のことなどを綴ったエッセイ。



C

D: 『モンキーパズル』

小黒恵子/著 1986 教育出版センター

「NHKみんなのうた」などで作品を発表してきた童謡作家、小黒恵子さん(1990年、川崎市文化賞受賞)の詩集。動物や草花など身近なものを題材とした作品は、自然の神秘や美しさ、生きる喜びと幸せを伝えています。

高津区にある自宅だった建物は「小黒恵子童謡記念館」として土日祝日の10:00~17:00に開館しています。

図書館長

お薦めの一冊



このコーナーでは、川崎市立図書館の館長がお薦めの1冊をご紹介します。

宮前図書館長 **和田 牧子**

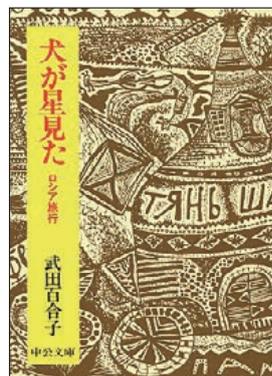
■武田 百合子『犬が星見た -ロシア旅行-』

「つれて行ってやるんだからな。日記をつけるのだぞ」

昭和44年、夫で作家の武田泰淳、友人の中国文学者竹内好とともに旅に出た著者百合子さんは、ほぼ一か月にわたる船と鉄道での旅の間、この言葉にしたがって走り書きでメモを残しました。そのメモを基にしてまとめたものがこの日記だそうです。

今のように旅の環境が整っているわけでもなく、不便なことも沢山あっただろうと思われます。ところが不思議と不便や大変といった思いは感じられず、おおらかで透き通った眼が旅の間の出来事を切り取っていきます。臆することなく現地の人々の中に飛び込み、片言のロシア語と身振り手振りで交流し、行く先々でお酒を探しては買い求め、飲んでまたお酒を探して知らない街を歩き回る。そんな行動力を発揮する百合子さんに甘えきった二人の文学

者の姿は興味深くもあります。またツアーと一緒に人々、訪れた先や現地のガイドの様子などが、時に愛情を込めて、時にはくすつと笑わせて、そして時には辛辣に書き留められています。旅という非日常の中でも自分を見失うことのない百合子さんの眼で、時々行動を観察されていたら、なんだかちょっと怖いかも…と感じたりもしました。



『犬が星見た -ロシア旅行-』
武田百合子/著 中央公論新社

「前世というものがあるのなら、そのとき、ここで暮らしていたのではないかという気がした」というこの旅ののちに、病を得た武田泰淳と竹内好はこの世を去ります。旅を懐かしみ二人に寄せたあとがきが美しく、胸を突かれます。

※昭和54（1979）年読売文学賞受賞

■宮前図書館

田園都市線宮前平駅から坂を上って10分ほどの宮前文化センター内にある図書館です。区役所と同じ敷地内にあり、子ども向けのおはなし会をはじめ、時節を捉えた資料の特集コーナー、認知症の人にやさしい小さな本棚の設置などを行っており、幅広い年代の方にご利用いただいています。また、自動車文庫の拠点となっており、ここから市内21か所のポイントに出かけて本の貸出しを行っています。

かわさき市民カードを図書館でご利用いただけなくなります

平成29年12月28日（木）をもってかわさき市民カードの本人確認機能が終了とされることに伴い、12月28日（木）の閉館後、かわさき市民カードでは、図書館サービス（貸出・予約サービス、図書館ホームページ上の一部メニューへのアクセス等）をご利用いただけなくなります。

継続してご利用の皆様におかれては、なるべくお早めに、通常の貸出カードへの切替手続きをお願いします。



12月28日（木）までにお手続される場合

貸出カード申込書に必要事項をご記入の上、かわさき市民カードとともに、市立図書館所定のカウンターまでお持ちください。

平成30年1月5日（金）以降にお手続される場合

貸出カード申込書に必要事項をご記入の上、かわさき市民カード及びご住所の記載された身分証明書（健康保険証、運転免許証等）とともに、市立図書館所定のカウンターまでお持ちください。
※かわさき市民カードは身分証明書としてご利用いただけなくなります。

【かわさき市民カードの詳細に係るお問合せ】

市民文化局戸籍住民サービス課（電話 044-200-2259）

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-1301 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橘分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅覧所(946-3271)